

事務事業評価シート

評価実施年度：平成29年度

上位の施策名称 施策Ⅱ-5-1
道路網の整備と維持管理

1. 事務事業の目的・概要

事務事業担当課長

漁港漁場整備課長 角 敬

電話番号

0852-22-5316

事務事業の名称	広域ネットワークの形成に資する漁港臨港道路整備事業	
目的	(1) 対象	漁港を利用する漁業従事者、漁村住民
	(2) 意図	漁業活動が安全で効率的に行えるようにするとともに、漁村に生活する住民の利便性を高める。
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> ・流通拠点漁港への水産物集積や、消費地への水産物出荷を安全かつ確実にできるよう漁港臨港道路や漁港関連道を整備。 ・漁村への生活道路としての役割も大きく、漁村生活の利便性を向上させるために、漁港臨港道路や漁港関連道を整備。 上記整備は、農山漁村地域整備交付金（国庫交付金）を活用して行う。	

2. 成果参考指標

成果参考指標名等		年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	単位
1	指標名	漁港関連道の整備率	目標値	85.0	100.0	100.0	100.0	%
	式・定義	整備済延長/計画総延長	実績値	70.0	85.0			
			達成率	-	100.0	-	-	%
2	指標名	臨港道路の整備率	目標値	11.1	28.4	45.7	63.0	%
	式・定義	整備済延長/計画総延長	実績値	7.6	10.0			
			達成率	-	90.1	-	-	%

3. 事業費

	前年度実績	今年度計画
事業費 (b) (千円)	357,335	734,781
うち一般財源 (千円)	17,938	37,842

4. 改善策の実施状況

前年度の課題を踏まえた改善策の実施状況	③改善策を検討中
---------------------	----------

5. 評価時点での現状（客観的事実・データなどに基づいた現状）

- ・和江漁港の漁港関連道整備事業については、H29年度の完成を目指して予算確保したが、橋梁の基礎工事において想定外の湧水対策等必要となり、事業費が増えるとともに完成もH30年度にずれ込む見込み。なお、橋梁以外の区間については当初の予定どおりH29年度内の完成の予定。
- ・加茂漁港の臨港道路整備事業については、工事に先立ち必要となる埋立申請に関する手続き中。H29年度には工事着手予定。

6. 成果があったこと（改善されたこと）

- ・農山漁村地域整備交付金（内地）の島根県への配分が増えない中、工事が本格化した和江漁港関連道の必要額を当該予算枠では確保できないため、農業農村や森林分野と調整し、H28・29年度と確保。

7. まだ残っている課題（現状の何をどのように変更する必要があるのか）

①困っている「状況」

- ・漁港関連道事業の工事費が増加したため、H30年度も予算確保が必要。

②困っている状況が発生している「原因」

- ・農山漁村地域整備交付金で実施しているが、県への国予算内示が内地は横ばいなし減少傾向。（離島はH28・29年度と増加）

③原因を解消するための「課題」

- ・交付金の予算確保とともに、交付金内の他事業との調整が課題。同じ内地の交付金事業である大社地区海岸環境整備事業や海岸長寿命化計画策定の進捗も図る必要がある一方で、関連道整備のためH28・29年度と水産分野に重点配分した結果、H30年度は予算圧縮が必須となっている。

8. 今後の方向性（課題にどのような方向性で取り組むのかの考え方）

- ・国に対して予算確保の重点要望を引き続き行う。
- ・農林水にまたがる一括配分という交付金の性質上、内地の配分増がほとんど見込めない状況であり、H30交付金予算の圧縮・平準化のため、H30年度が交付対象期限となっている海岸長寿命化計画策定の期限延長を国に要望する。
- ・加茂漁港の臨港道路整備事業については、漁業活動だけではなく地区内の町道幅員が狭く防災上も問題となっている状況を踏まえ、地元要望の強い終点側から整備を進める。